



会 報

第 271 号

— 本部役員紹介 —

新支部長の紹介が一段落した処で、平成 28 年 6 月に第 2 期目の常任理事（学校経営対策委員長）に就任され、これまでも学校連盟の事業活動に対し多大な貢献をされて来ました大滝徹先生に登場していただきました。



常任理事
(学経対委員長)
大滝 徹 先生

プロフィール

昭和 44 年 3 月 大滝珠算学校勤務

昭和 47 年 3 月 愛知大学卒業

昭和 55 年 4 月 私立豊川高校勤務

昭和 55 年 6 月 全国珠算学校連盟愛知県支部理事

昭和 55 年 6 月 校長として愛知県知事認可

平成 24 年 6 月 全国珠算学校連盟理事就任

平成 26 年 6 月 全国珠算学校連盟常任理事（検定委員長）就任

平成 28 年 6 月 全国珠算学校連盟常任理事（学校経営対策委員長）就任

＜趣 味＞ カラオケ、めだかの飼育

＜座右の銘＞ 「成せば成る」

＜抱 負＞ ～学校経営対策委員長就任にあたって～

近年、少子化、習い事の多様化等々、珠算教育を取り巻く環境は厳しさを増しております。そんな中、私自身平成 28 年 6 月より学校経営対策委員長に就任させていただき、責務の重さを深く感じております。これからも珠算学習の啓蒙に少しでも努力していければと思っております。

新 年 の ご 挨拶



公益社団法人 全国珠算学校連盟
会 長 山 中 幸 二

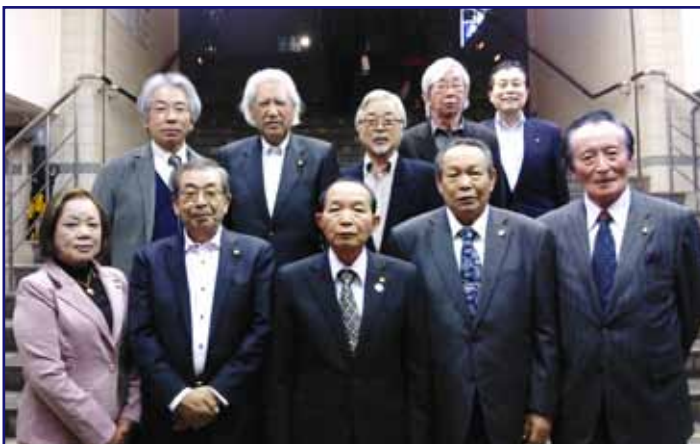
新年明けましておめでとうございます。

さて、昨年6月の総会で会長に選任され二期目もすでに半年が経過したわけですが、その間、従来から主催してきた全日本珠算技能競技大会や全国珠算学校集合研修会、指導者研修会など滞りなく実施されました。また、昨年は、連盟創立の55周年の節目にあたり11月には「創立55周年記念式典」を挙行いたしました。来賓に細田博之名誉会長、和田義明衆議院議員、モンゴル算盤協会 トゥムルバートル会長そして文部科学省からは白鳥綱重専修学校教育振興室長に参列して頂き、ご祝辞を賜りました。また、安倍晋三自由民主党総裁からの感謝状をはじめ、役職功労表彰並びに20年以上の永年在籍表彰と記念品が贈呈され、祝賀会ではモンゴルの民族楽器が演奏され、華やかな中、無事盛会裏に終えることが出来ました。こうした行事の成功もひとえに会員の先生方の並々ならぬご協力の賜物だと深く感謝申し上げます。学校連盟創立55周年の節目を機に会員の先生方と志を新たに珠算教育の振興に精進して参りたいと存じます。

珠算界にとり最重要課題である小学校における珠算教育については近く新指導要領が採択されるのに伴い大幅な見直しが検討されている折、珠算教育の更なる強化のために小学校の2年生にも導入されるべく各方面へ働きかけを続けております。昨年の11月には吉田顧問のご尽力により、全珠学連、全珠連、日珠連の3団体からなる珠算教育団体連合会を代表して文部科学省を訪問し、就任間もない松野博一文部科学大臣と義家弘介副大臣に珠算教育強化の要望書を提出しております。こうした地道な活動を継続し、小学校での珠算教育の継続と強化に貢献して参りたいと存じます。

懸案となっていました暗算検定改革については、昨年5月の検定から大幅に試験内容を改革し施行いたしました。当初の狙い通り、珠算を学ぶ生徒達により身近で学習意欲を高める内容となり、受験者が大幅に増加し、同時に段位を含め上位級の合格率も上昇しています。今後、珠算検定含め相乗的に全体の受験者が増加するものと期待しています。

また、一昨年からスタートした「新世代の会」も昨年10月に2回目の会を開くことが出来ました。全国から19名の気鋭の珠算指導に携わる先生方が参加し、活発な意見交換がなされました。今回、代表・副代表など役員を選定がされて、今後「新世代の会」を学校連盟の主要行事の一環として定着させ、連盟の維持発展と新入会員を増やして行くための対策についても積極的な提案を期待したいと存じます。本年も、従来からの主要行事の充実に向けた取組みはもちろんの事、当連盟の目的である「珠算教育の振興」を念頭に置き、公益社団法人として更なる発展を期し、会員の先生方の力強いサポート役になれるよう全力で取り組んで参りますので、諸先生方の格別なご指導とご鞭撻をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。



「新年あけましておめでとうございます。
本年も何卒よろしくお願い申し上げます。」

(本部執行部の皆さんから)

第 8 回指導者研修会 「明日の珠算を考える会 2016」 紙上報告

2016年10月2日（日）恒例の第8回指導者研修会「明日の珠算を考える会 2016」が、東京都文京区湯島の東京ガーデンパレスにて開催されました。北海道から九州まで全国各地から102名の珠算教育の最前線で日々活躍されている先生方が参加。

講師は、全国各地の毎年15以上の小学校で珠算のボランティア授業や大学で教員志望の学生に珠算の講座を教え、更に現役の小学校の先生対象の珠算研修会で講師を勤めるなど、活躍中の珠算教育団体連合会専門委員会委員長の谷賢治先生をお招きし、第1講「楽しいそろばん授業のネタ～算数と珠算史にからめて～」をテーマに約3時間にわたってお話をしていただきました。珠算教育での具体的な生徒指導の方法やツールの紹介などを始め、珠算と算数をリンクさせる方法など実践的な指導法を解説する大変分かり易い内容でした。

また、第2講では、「ホームページの作成について」をテーマにITの会社を経営されている二石芳裕氏からお話をして頂きました。ITまたはAIなどますますネットを通じた珠算教室のPRが不可欠な時代で、早速、教室のホームページ作成の準備をすることが出来る貴重な情報が満載の講演となりました。

参加した先生方から将来に向けての珠算教育の大変貴重なヒントを得られたと同時に珠算塾の今後のPR活動の参考になったとの声を聴くことが出来ました。今回の研修会の概要について、以下、ご報告させていただきます。

立木総務委員長の総合司会のもと、横須賀副会長の開会の言葉の後、山中会長の挨拶に続き、「明日の珠算を考える会 2016」第1講がスタート。



挨拶する山中会長



講師の二石先生・谷先生



司会 立木総務委員長



熱心に聴講する参加者の皆さん

第1講「楽しいそろばん授業のネタ」―算数と珠算史にからめて―

講師 東京都 谷 賢治 先生



講師プロフィール

全国珠算教育団体連合会専門委員長、日本そろばん資料館学芸員
 主な活動：全国各地の小学校でのボランティア授業（毎年平均15校前後）、武蔵野大学、筑波大学、三重大学、秋田大学、群馬大学の教員志望の学生に珠算の講座、小学校の先生対象に現職教員珠算研修会（約50ヶ所）日本数学教育学会主催の全国研究集会（略称日数教大会）で10年連続研究発表、
 映画「武士の家計簿」では堺雅人氏に、「天地明察」では岡田准一氏にそろばんの指導、最近では「古都」主役の松雪泰子氏にもそろばん指導。主な著書：「脳に差がつくそろばんのすすめ」、「子どもをすくすく伸ばすそろばん」いずれも共著

第1講では、谷先生が作成した23頁に亘る資料をパワーポイントで表示しながら講演されました。概要は次の通りです。

「最近のそろばん事情」～今そろばんは？そして今後は？～

- ・最近の新入生の入塾に際しての特徴として、昔は子どもが友達を連れて入塾してきたが、今は体験入学や無料講習会などを通して入塾して来る。その際に必ず保護者同伴で、教室がガラガラなのか混んでいるかで、教室の良し悪しが判断されることが多い。
- ・近年はカルチャースクールや大型商業施設に「そろばん講座」が開設されてきている。
- ・マスメディアの活用が重要な時代でもある。上述の様に保護者のそろばん塾の情報入手方法はホームページの検索等、メディアが主流である。
- ・ボランティア授業（小学校への出張授業）：ボランティア授業は、そろばんの技術を上達させることが目的でなく3時間程かけて、そろばんの楽しさ、奥の深さを教えることができるので、とても楽しい授業をさせていただいている。東京都では平成14年は184校であったが、平成24年は573校と増加。平成25年は少し減っている。ボランティア授業に対する教育委員会・小学校側の対応は各都道府県・市町村でそれぞれ違っている。多くの小学校で毎回、ビデオ撮影などしているが翌年に教師が主体的に実施するという事はあまりなく、また依頼してくることが多い。ただ、都道府県によっては初任者研修会で「そろばん」の研修を実施している所もある。



研修会の様子



研修会の様子

全国珠算教育団体連合会について

全珠学連、日珠連、全珠連の3つの珠算連盟で構成され、その中に専門委員会を設置し珠算教育の充実・拡充・普及について積極的に活動している。副教材として「たのしいそろばん」・「小学校のそろばん学習」を毎年発行して、ボランティア授業を通して、全国の小学校の先生に配布。更に、文部科学省に現在3・4年生で行っている「そろばん」を2年生にも正課とするように働きかけている。

教師のことばと禁句

- ・「さっき教えたでしょ」「ああこれは簡単よ」「ほらまたちがった」「何回言ったらわかるの」「～でもしていなさい」など何気なく言った言葉で子どもの心は傷つく。ことば遣いには細心の注意が必要である。「言葉の大切さ」を念頭におくなど、子どもの心に残る言葉を大切にしたい。
- ・「懇切丁寧な指導」も良いが、「教え過ぎは禁物」。逆に「教えなさ過ぎ」も問題。子供に分かり易く、興味を持たせるための工夫が大切。

教材について

手作りの問題＝子供に興味を持たせ、考えさせることが重要。

タイムリーな問題＝子どもたちが知っている今どきの話題等で問題を作る

例：イチロー選手がアメリカで打ったヒットの数は左の表の通りです。この表を見て計算しましょう。

問題1 平均（へいきん）すると、1年間にヒットを何本打ったことになるでしょう。
平均の出し方を考えよう。

問題2 かんたんに計算する工夫をして、暗算でしましょう。

検定試験に出ない問題＝けた数で考えよう

例：地球から太陽までの距離は1億5000万キロメートルです。「それは何けたですか？」

世の中で一番速く届くのは「光」です。光は音よりも速いのです。宇宙を飛ぶロケットよりも速いのです。その速さは1秒間に30万キロです。「それは何けたですか？」

では問題です。光は1秒間に地球を7回半まわります。太陽から地球まで光の速さで移動したら、どのくらい時間がかかるでしょう。けた数で考えれば、暗算ですぐ答えがでます。

1億5000万キロメートル÷30万キロメートル 9けた÷6けたですから、答えは3けたですね。
15÷3を計算するだけです。答え 500秒

豊かな数感覚の育成

概数・概算・大きな数の九九

例：百・百は万 千・千は百万 万・万は億（ママはおくにいるよ）

数字とことば

- ・魚シリーズ、道具シリーズ、地名、人名にかけてみる
27（ふな）、49（フォーク）、84（はし）、
93（くすり）、712（ナイフ）、
845（梯子）、八八〇（タテに並べると谷）



研修会の様子

楽しい読み上げ算

単位を変える、同じ数字、答えの楽しさ、きょうは何の日、語呂読み

例：1年間の秒数は？＝31,536,000秒（西郷さん6000秒）

いじわる問題、算数の計算、盤面算、概数・概算

答えが合っていた人？＝例：「立って計算する」、更に答えが合っていたら「椅子の上に立つ」＝優越感をもたせる。そろばんを交換させる＝自分のそろばんが如何に使いやすいかを実感させる。

指名の工夫、フェイントをかける＝様々な工夫で教室内が和やかになり、学ぶ楽しさが醸し出される。子供たちが楽しく学び、数に関する楽しさを子供たちを感じさせる事が大切。

今日は何の日

- ・1月7日（循環小数）、2月7日（ $2+3+4+5+6+7=27$ ）、3月14日（円周率）、7月2日（1年365日の真ん中）、8月8日（パチパチ＝そろばんの日）、9月9日（九九の日）、10月9日（1009＝センキュー）、12月3日（ $1+2=3$ ）
- 何気ない毎日でも数字の面白さを発見させて、数字の楽しさを知らせる。

やさしいそろばんの歴史

- ・そろばんは誰が発明したの？どうして「そろばん」と言うの？
- ・外国にもそろばんがあるの？＝ロシア・中国・視覚障害者用、いつごろから使われているの？
- ・定位点は、どうして3桁ごとなの？＝10進法の普及や欧米化で4桁から3桁に移行

おぼえる、繰り返す、使う

- ・教師が暗記しておきたい問題： 625×16 , 271×41 , $756 \div 18$, $1025 \div 25$
- ・同年同月同日の誕生日（その日は誰でも63才）

以上のレポートの様に、谷先生には自作の詳しい資料に沿って丁寧に分かり易く講演していただきました。また、「楽しいそろばん授業のネタ」の数々を別冊の資料として配布。日頃教室でそろばんを教えている先生方には、すぐ使える「ネタ」が満載でした。

また、谷先生の教え方で終始一貫しているのは、教室の子どもたちへの愛情が豊かで、そろばん技術の上達指導もさることながら、数感覚を育成して数字の奥行きと、楽しさを味あわせたいという熱意を感じるお話でした。3時間にわたるご講演でしたが、先生方一同、聞き漏らすまいと熱心に聴講されていました。



分かり易く語る谷先生



谷先生による「珠算授業のネタ」資料集

第2講「ホームページ作成について」

講師 東京都 二石 芳裕 先生



講師プロフィール

本郷サイエンステクノ株式会社代表取締役
暗算教育ソフトの開発、珠算競技大会
イベント企画、ホームページ作成等の
IT 技術サポートを手掛ける

第2講では、神奈川県支部のホームページ作成などでもご協力いただいている、本郷サイエンステクノ株式会社代表の二石芳裕社長から IT 時代のスマホにも対応したホームページ作成の詳しいレクチャーをして頂きました。短時間ではありましたが、参加の先生方も熱心にメモを取りながら、いかに自分の教室に応用できるか真剣に聴講されていました。

- 近年は保護者が珠算教室をパソコンやスマートフォンで検索する事が多くなり、保護者のニーズに応えた最新のホームページ作成が必要になっています。勿論、既にホームページを開設している教室もあるが、近年のニーズはスマートフォンやタブレットに対応できるホームページが人気を得ており、必須と言えます。
- 本郷サイエンステクノが制作した「スマホに対応したホームページ作成」の説明では実際に会場内を撮影した映像をホームページに動画としてアップする活用方法などを具体的に実演していただきました。
- どのような雰囲気のあるそろばん教室だろう？何曜日の何時に授業があるのだろうか？という入塾希望者の知りたい情報がスマホで瞬時にわかるホームページの開設のサポートをしたいとのことでした。
- 参加の先生方には、ホームページに掲載する「教室の概要」を簡単に記入出来るシート（ホームページ提案書）を配布。今回の講演を機会に、ホームページを開設すれば、珠算教室の生徒募集の大きなツールになり、生徒増に繋がると考えられます。

お問い合わせは 090-5496-5890 メールアドレスは info@science-t.co.jp
(お気軽にお問い合わせくださいとのことでした。)



研修会の様子



連合会のホームページを解説

平成28年10月2日(日)第8回指導者研修会「明日の珠算を考える会2016」参加者名簿

No.	支 部 名	氏 名	No.	支 部 名	氏 名	No.	支 部 名	氏 名
1	(講 師)	谷 賢 治	41		箱 崎 喜 代 子	81	静 岡	芹 沢 智 津 子
2	(講 師)	二 石 芳 裕	42		小 澤 恵 子	82	愛 知 県	大 滝 徹
3	北 海 道	山 中 博 詞	43		井 上 節 子	83		矢 田 祥 子
4		小 林 有 悟	44		山 中 敬 子	84		村 田 康 代
5		大 畑 有 加	45		間 中 良 子	85		近 藤 仁 美
6	秋 田 県	武 田 芳 子	46		並 木 幸 子	86		古 川 侃 司
7	岩 手 県	及 川 幸 子	47		小 林 順 子	87		山 田 憲 市
8		佐 々 木 良 子	48		館 野 明 美	88	岐 阜 県	立 木 博
9	福 島 県	三 富 邦 基	49		山 中 俊 明	89		立 木 明
10		三 富 俊 彦	50		中 島 美 智 子	90		中 谷 公 継
11	栃 木 県	横 須 賀 長 次	51	群 馬 県	中 野 や よ い	91	石 川 県	木 谷 哲 也
12		横 須 賀 正 典	52		高 津 孝 子	92		渋 谷 慶 一
13		細 野 美 貴	53		平 田 あ け 美	93	兵 庫 県	蓮 井 慶 太 郎
14		横 須 賀 富 貴 子	54		森 下 富 士 美	94		木 谷 晋 也
15		西 川 俊 治	55	新 潟 県	杵 鞭 博 昭	95	広 島 県	徳 永 博 旦
16		見 目 光 治	56		田 村 久 子	96	香 川 県	藤 井 卯 月
17		塩 生 良 江	57		中 沢 秀 一	97	佐 賀 県	吉 江 國 雄
18		熊 坂 千 代 子	58	東 京 都	近 江 稲 子	98	福 岡 県	出 井 生 代
19		熊 坂 靖 男	59		村 上 良 子	99		松 元 洋 平
20	千 葉 県	鈴 木 啓 一	60		飯 山 晶 子			
21		鈴 木 重 成	61		片 貝 と み 子	100	本 部	木 股 光 雄
22		早 川 典 秀	62		大 山 勝 治	101		木 下 貞 夫
23		金 子 智 佳 子	63	埼 玉 県	南 雲 初 江	102		吉 田 由 美
24		鈴 木 幸 枝	64		野 原 命 子			
25		中 島 え い こ	65		佐 藤 ミ エ			
26		池 田 彰 子	66		渋 谷 節 子			
27		松 尾 和 子	67		宇 津 木 ミ ツ			
28		椿 静 子	68		門 照 子			
29		和 田 紀 子	69		菊 池 和			
30	茨 城 県	山 中 幸 二	70		新 井 勉			
31		飯 塚 美 智 子	71		佐 藤 有 里			
32		竹 内 か ほ る	72	神 奈 川 県	竹 中 翠			
33		鈴 木 広 子	73		平 野 晶 子			
34		川 崎 和 江	74		秋 田 幸			
35		澤 田 舞 美	75		佐 々 木 幸 子			
36		桜 井 ミ チ エ	76		九 石 悦 子			
37		柏 崎 多 美 子	77		吉 川 和 希			
38		林 豊 子	78		酒 井 恵 美 子			
39		武 井 ふ じ 子	79	静 岡 県	沢 野 基 司			
40		鈴 木 勝 恵	80		広 瀬 三 千 男			

第2回「新世代の会2016」紙上報告



総合司会の山中副会長



活発な意見交換

2016年10月2日(日)指導者研修会に先立って、第2回目「新世代の会2016」が開催されました。全国から気鋭の珠算教育に携わる先生方19名が参加。本会の趣旨に沿って、活発な意見交換が行われました。開催の趣旨と併せ会議の中での意見交換の内容や提案などについて、以下ご報告いたします。今回、「新世代の会」を運営するにあたって中心となって頂く役員が選任されましたので、あわせて、今後の抱負などと共にご紹介させていただきます。先生方からの応援を宜しくお願いいたします。

新世代の会開催の趣旨(目的)

これからの珠算教育のあり方や学校連盟の役割などのほか、当連盟が主催する様々な行事、検定試験に関する課題等について自由に意見交換。意見交換を通して出されたアイデア、問題提起等を学校連盟の理事会等に諮問し、具体化を検討し、今後の連盟の事業活動に活かす。(参加資格:50才代までの会員)

山中博詞副会長の総合司会で開会の後、山中会長の挨拶。その後、参加者の中から見目光治先生を議長に、三富俊明先生を副議長に指名して、意見交換などがスタート。先ず、19名の先生方の自己紹介から始まり参加した理由や意見を語っていただいた。

参加理由と意見交換などの内容

- 先生方が何に注力して珠算指導に取り組んでいるか? / 算数検定を、より多く受験して欲しい、その為に改善して欲しい点などがある / 10年20年後を見据えた上で、今何をすべきか意見を聞きたい / フラッシュ暗算、英語読上げ算を導入して少し生徒が増えたが、15年経過して新基軸が欲しい / ホームページでは動画などをアップして保護者にアピールしたい / これから先のそろばん学習の魅力作りについてを考えていきたい / 幼児教育でのそろばん学習の在り方を考察したい / 算数の要素をそろばん学習が失わない様に考えていきたい / 経営・継続・振興等、珠算教育の在り方を考える / 人材不足にどの様な対策があるか / 10年後の珠算界はどうなっているのか、そろばん教室は10年後半減し、20年後はゼロになるのではという危機感を持っている / 併せて後継者不足も感じている、どの様に後継者を育成すれば良いか / 今年4月に銀行勤めを辞め、そろばん教室を開設して色々不安があったが、今は「やるしかない」と言う気持・・・等々意見交換。
- 議長より「学校連盟として今後、どの様に対応して行こうとしているのか」と言う質問が山中会長に出された。会長からは、先ずは新入会員を増やし検定受験者数の増加が当面の課題であると考えている。連盟として出来る事、個人として頑張ってもらいたい事などがあり、今後協力して進めて行きたいとのコメント。

今後の新世代の会の在り方について

- テーマを決めて有意義な議論が出来る様に話し合う / 教室経営や珠算界全体に目を向けた交流を通して意見交換をする / 珠算教育の在り方、教材・教具の公開などを図る / 今後は若手の珠算教育を担っている先生方に呼び掛け会議への参加者を増やしたい

役員選出

今後の「新世代の会」の発展と充実のために中心となる役員が次の通り選出されました。

代 表 見目 光治 先生（栃木県）／副代表 木谷 晋也 先生（兵庫県）

幹 事 中島 えいこ 先生（千葉県）、池田 彰子 先生（千葉県）

※参加者の間でグループラインを設定し、迅速な連絡や情報交換を進める事になった。

以上、第2回目となる「新世代の会2016」の意見交換等の内容をご報告いたします。
今後の進め方など代表の見目先生を中心に議論しながら推進し、連盟への貴重な提案などが期待されます。



三富先生（副議長）と見目先生（議長）



会議の様子

平成28年度第2回「新世代の会 2016」参加者名簿 2016.10.2

No.	支 部 名	氏 名	会 員・外	備 考
1	北 海 道	小 林 有 悟	会 員	
2	〃	大 畑 有 加	会 員	
3	福 島 県	三 富 俊 彦	会 員	
4	栃 木 県	横 須 賀 正 典	会 員	
5	〃	見 目 光 治	会 員	
6	〃	細 野 美 貴	会 員	
7	宮 城 県	坂 井 宏 行	会 員	
8	茨 城 県	小 澤 恵 子	会 員	
9	〃	山 中 俊 明	会 員	
10	千 葉 県	鈴 木 重 成	会 員	
11	〃	中 島 え い こ	会 員	
12	〃	池 田 彰 子	会 員	
13	岐 阜 県	立 木 明	会 員	
14	〃	中 谷 公 継	会 員	
15	石 川 県	木 谷 哲 也	会 員	
16	〃	渋 谷 慶 一	会 員（職員）	
17	兵 庫 県	木 谷 晋 也	会 員	
18	〃	蓮 井 慶 太 郎	理 事	（常任理事）
19	福 岡 県	松 元 洋 平	会 員	
	本部役員			
20	会 長	山 中 幸 二	（代表理事）	※オブザーバー
21	副 会 長	横 須 賀 長 次	（代表理事）	※オブザーバー
22		山 中 博 詞	（代表理事）	※総合司会 オブザーバー
	合 計 人 数	19名＋オブザーバー3名		

「新世代の会」役員紹介

今回、新世代の会の役員に選任されました先生方から、抱負など力強いメッセージをいただきましたので、以下掲載いたします。

代表 見目 光治 (栃木県)

このたび全国珠算学校連盟「新世代の会」代表を仰せつかりました栃木県の見目です。このような大役を仰せつかり、その責任の重大さを改めて痛感している次第です。現状、珠算界の未来は決して明るいものとは言えません！今後の珠算界を考え珠算教育の重要性や意義、魅力、指導法は勿論のこと各珠算教室の経営、後継者問題（引継者）、珠算教室の減少対策、珠算指導者の増加・育成、宣伝、資料公開など…これから先の珠算界の為、珠算に携わる方々の為、微力では御座いますが皆様の納得のいく実績をあげるべく、一念発起の気持ちで職務に邁進していく所存であります。まだまだ力不足ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。簡単では御座いますが、代表就任の挨拶とさせていただきます。



見目先生



木谷先生

副代表 木谷 晋也 (兵庫県)

このたび「新世代の会」の副代表をつとめさせていただくこととなりました。微力ではございますが、少しでも力になれるよう頑張ります。「新世代の会」が連盟の中でどのような役割を果たしていくのかはスタートしたばかりであり未知の部分が多いですが、会員の皆様と協力しあい正しい行き先に向かって進んでいけるように尽力いたします。連盟としての新しい取り組みが、新世代の方々はもちろん、会員の皆様にとっても魅力的なものに成長し生徒さんがそろばんを習っていてよかったと実感してもらえる機会を数多く創出していければよいと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

幹事 中島 えいこ (千葉県)

今から13年前、私は、一宮町立一宮小学校で特別支援学級の算数科に於いて4年間（通算760時間）、並行して、長生村立八積小学校に於いて4年間（通算336時間）、算数科における珠算指導を行いました。下記は当時3年生の男子生徒から送られた手紙ですが、これが今の私の原点です。特別支援学級の児童に限らず、次世代を担う子ども達に、そろばんが必要不可欠な習い事となるためには…。公文や学研ではなく、やっぱりそろばん！という認識で保護者様の心を捉えたなら…。それは間違いなく地域社会全体の「宝」になると思います。

「新世代の会」は、そんな近未来の珠算教育も視野に入れ、珠算界の今後のあり方について、建設的に意見交換ができる場であることを目標としています。多才で有能な先生方が沢山おられる中、初年度の幹事を任されましたので、私利私欲を持たず真っ直ぐ前を見据えてこの責務を全うしたいと思います。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。



中島先生

そろばんで早くけい算できるようにしたい。
もっともっとがんばっている。
100点もとりたいです。なおしかなひ
うにがんばります。ぼくは、中じま先
生のことが好きです。そんはわかるよ
うにおしえてくれませんかです。



池田先生

幹事 池田 彰子 (千葉県)

新参者ですが、会議の席に女性が数名しかおりませんでしたので、お役を承りました。開業32年になる北沢珠算教室の創設者である母が2年前に事故で他界し、弟と共に何とかここまで継続し、急な世代交代もそろそろ落ち着いてまいりました。母がしてきた貢献の道を、私も何らかの形で引き継いでいかねばと考えております。私自身は対人関係や基礎学習指導を得意とし、自塾の選手育成や有段者の輩出に携わるのはこれからという段階で、皆様から勉強させていただくことを楽しみにしている者でもあります。山中会長の長期的視野の下、発足したこの「新世代の会」が珠算界で垣根のない繋がりを実現できる礎になることを信じています。そのために、世話人（幹事）として、今期選出された4人の力を合わせ、私にできることを精一杯務めさせていただきます。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 28 年度 第 2 回全国珠算教育団体連合会代表者会議の報告

平成 28 年 11 月 13 日（日）、東京駅前 丸ビル（8F Room 1）に於いて、今年度第 2 回目の代表者会議が開催されましたので、当連盟の活動に関連する部分の内容について以下ご報告します。



代表者会議出席者



会議の様子

出席者

- （公社）全国珠算教育連盟：梶川真秀理事長、平上一孝副理事長、岡久泰大副理事長、谷賢治専門委員会委員長、小原光治専門委員、高橋房雄局長、安達由美子事務局員
- （公社）全国珠算学校連盟：山中幸二会長、横須賀長次副会長、山中博詞副会長、中島えいこ専門委員、木股光雄事務局長
- （一社）日本珠算連盟：益田明理事長、上川祐司副理事長、大貝敏次連合委員長、小倉義明専門委員、會本尚専務理事

1. 平成 28 年度事業について

ア. 初等教育の珠算教育の更なる強化に関する要望書について

- ・ 現行の 3・4 学年を 2 年生から 4 年生まで連続した指導がなされる様学習指導要領における珠算教育の強化
 - ・ 大学における教員養成課程及び教員免許 10 年更新講習に珠算指導法の履修導入
- ※要望書について経過報告（谷専門委員長説明）

イ. 東京 武蔵野大学「そろばん講座」への講師派遣について、中島委員より報告

平成 29 年 7 月にも同大学にて「そろばん講座」講師派遣予定

ウ. 第 6 回世界珠算暗算競技大会について

岡久全珠連副理事長より報告。次回大会は平成 30 年予定。29 年にマレーシアで理事会が開かれ、大会開催地が決まる予定。選手派遣に関しては、派遣選手 3 名及び引率責任者旅費として 120 万円計上予定。（なお、今年度の収支は別途報告する。）

エ. 「小学校のそろばん学習 vol.5」について（小原委員より報告）

- ・ H28.8 月発行、3 団体事務局へ発送。団体事務局より会員へ発送手配。
- ・ 発行部数は前年と同様、各団体からの必要部数に基づき発送。（計 18,000 部）
現在数百部保管。今後、ボランティア授業出講等で活用していただく。
- ・ 来年度 vol.6 は平成 29 年 7 月作成を目指す。（内容は専門委員に一任）

オ. ホームページの更新と内容の確認について（HP 検討委員会報告）

- ・タブレット等でも閲覧可能にする。動画の採用や内容の向上・改善を検討。

2. 平成 28 年度「たのしいそろばん」の利用状況について

- ・平成 28 年 10 月 31 日現在 児童用 280,520 冊、教師用 16,400 冊を配布。

どちらも前年減少。今後、毎月末の集計を各団体に報告する。

- ・今後の対応について検討、意見交換。

3. 教科書会社担当者との懇談会について：

平成 29 年 1 月 27 日（金）広島市において開催予定。教科書会社 4 社と珠算連合会 3 団体代表と専門委員長にて対応。

4. 平成 29 年度の活動方針について

ア. 事業計画（案）：内容の検討と確認

イ. 仮予算（案）：内容の検討と確認

上記の計画を基本に活動する。なお、選挙など臨時的な事業については、適宜対応。

5. 平成 28 年度活動報告について

連合の活動報告の後、各団体の活動報告。主な連合会の活動は次の通り。

4 月 1 日	小学校におけるボランティア授業実施校数調査依頼
4 月 6 日・21 日	専門委員会（東京）
5 月 1 日	連合会ホームページ開設
5 月 8 日	第 1 回代表者会議（東京）
5 月 11 日	専門委員会（東京）
6 月～ 22 日	小学校副教材「たのしいそろばん」に関する業務など 専門委員会（東京）（中島委員出席）
7 月 14 日	武蔵野大学「そろばん講座」講師派遣
7 月 28 日	第 6 回世界珠算暗算競技大会（香港）
8 月	「小学校のそろばん学習 vol.5」発行
11 月 13 日	第 2 回代表者会議（東京）
11 月 14 日	松野博一文部科学大臣表敬訪問（各団体代表者 計 5 名参加）

6. その他

ア. 全国珠算教育団体連合会 会則について報告

イ. 5・11 月代表者会議後の対応について ほか

ウ. 次回代表者会議の日程

平成 29 年 5 月 14 日（日）（東京：丸ビル room1）

13:00 監査会、14:00 代表者会議 開催予定

エ. 諸報告：各団体役員改選に伴う新役員の紹介。

「小学校のそろばん学習 vol.5」8 月に完成。
9 月には会員各位へ配布。ボランティア授業
などにご活用下さい。



—平成28年度第2回珠算連合代表者会議—

平成28年度「たのしいそろばん」申込一覧表

平成28年10月31日現在

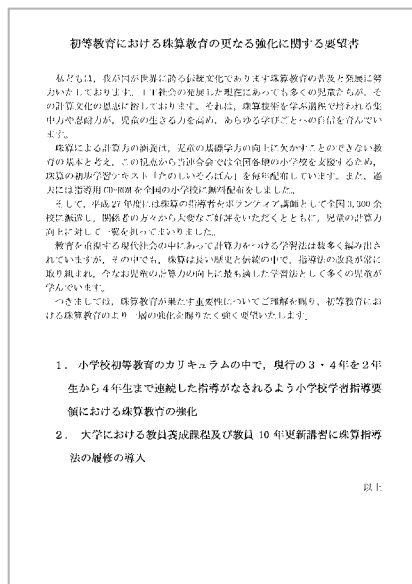
都道府県	児童用			教師用			平成27年度 ボランティア実施校数
	平成28年度	平成27年度10月末	増 減	平成28年度	平成27年度10月末	増 減	
北海道	20,250	16,230	4,020	1,210	1,010	200	1
青森			0			0	11
岩手			0			0	1
宮城			0			0	35
秋田			0			0	40
山形	500	1,400	△ 900	50	30	20	49
福島		2	△ 2		2	△ 2	81
新潟			0			0	33
茨城		2,100	△ 2,100		100	△ 100	159
栃木			0			0	197
群馬	17,000	17,500	△ 500	700	800	△ 100	227
埼玉	500		500	20		20	94
千葉	6,750	7,230	△ 480	180	190	△ 10	51
東京	104,000	103,500	500	7,100	7,100	0	428
神奈川			0			0	275
富山	2,000	2,590	△ 590		10	△ 10	59
石川	10,700	11,500	△ 800	800	840	△ 40	45
福井	4,700	4,300	400	250	220	30	36
山梨			0			0	1
長野			0			0	1
岐阜	4,700	5,000	△ 300	170	230	△ 60	42
静岡	16,490	18,260	△ 1,770	640	920	△ 280	12
愛知	34,600	38,000	△ 3,400	1,250	1,250	0	262
三重	8,100	9,000	△ 900	740	425	315	0
滋賀			0			0	20
京都	7,000	7,000	0	200	700	△ 500	65
大阪		35,000	△ 35,000	1,000	2,100	△ 1,100	184
兵庫	8,040	8,230	△ 190	50		50	142
奈良			0			0	27
和歌山	120		120			0	24
鳥取	1,300	1,000	300	50	30	20	24
島根	1,600	2,260	△ 660	100	100	0	25
岡山	2,600	4,200	△ 1,600	240	250	△ 10	109
広島	1,000	15,000	△ 14,000		900	△ 900	246
山口			0			0	3
徳島			0			0	1
香川			0			0	15
愛媛	6,950	7,250	△ 300	450	445	5	0
高知			0			0	2
福岡			0			0	7
佐賀	1,500	550	950	90	30	60	43
長崎	4,500	4,500	0	300	300	0	7
熊本			0			0	10
大分	4,500	3,700	800	310	100	210	51
宮崎			0			0	13
鹿児島		8,000	△ 8,000			0	3
沖縄	11,120	8,000	3,120	500	300	200	126
全珠学連		10	△ 10		10	△ 10	
日珠連		500	△ 500		200	△ 200	
全珠連			0			0	
合 計	280,520	341,812	△ 61,292	16,400	18,592	△ 2,192	3,287

文部科学大臣・副大臣 表敬訪問の報告

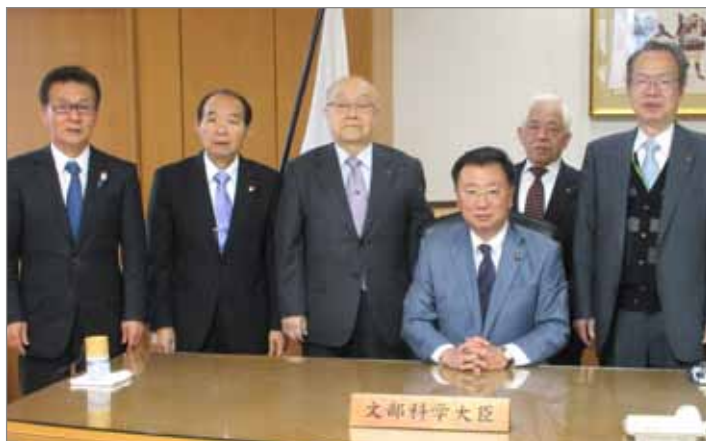
平成 28 年 11 月 14 日、珠算教育連合会を代表して吉田顧問、山中会長始め、梶川連合会会長など 8 名が、就任間もない松野博文部科学大臣及び義家弘介文部科学副大臣を訪問し、小学校算数科の珠算教育強化の要望書を提出しました。要望書の内容や訪問時の様子など以下の通り会報を通じて会員各位へご報告いたします。



要望書



珠算教育強化要望書



松野文部科学大臣と



義家文部科学副大臣と



松野文部科学大臣に要望書の説明をする

珠算教育強化に関する要望書

算数科における「そろばん」の学習開始時期を第 2 学年から

私たちは、我が国が世界に誇る伝統文化である珠算教育の普及と発展に努力いたしております。昭和 13 年に小学校算数科に「そろばん」が必修になった以来、学習指導要領の何回も改訂がある中で、一度も廃止されることなく、現行にいたっております。

我が国においても多くの子供たちが、算数科の中で基礎学力の向上に欠かせない算数の基本であるそろばんを学び、情報化社会とされる現在であっても、世界では多くの国でそろばんが指導されています。

この度当連合会では全国の 8 都府県、8 校の公立小学校において、第 2 学年「そろばん学習の実践」を実施いたしました。そろばんを従来のような計算の道具としてだけでなく、「長さ」「かさ」などの理解を深めるための、算数教員としての機転性を活用したものです。その結果は添付の資料に明らかにされております。大きな上昇が認められました。

これらを踏まえて、改訂指導要領の改訂では、算数科における「そろばん」を従来の第 3 学年からではなく第 2 学年から開始し、第 3 学年、第 4 学年と継続して指導されるよう強く要望いたします。

2 学年から珠算教育開始要望書

平成 28 年度中間決算（監査）の報告

平成 28 年 11 月 23 日（水・祝）に本部事務局におきまして 28 年度中間決算監査が行われましたので、上半期の財務状況（貸借対照表、正味財産増減計算書など）について、以下ご報告いたします。

法 人 名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

貸借対照表

平成 28 年 9 月 30 日 現在

科 目	当 年 度	前 年 度
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	86,439,888	82,315,721
流動資産合計	86,439,888	82,315,721
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
土地	54,716,920	54,716,920
基本金	3,000,000	3,000,000
基本財産合計	57,716,920	57,716,920
(2) 特定資産		
慶弔引当資産	2,738,000	2,738,000
生徒安全会基金	15,971,956	15,971,956
珠算振興事業基金	21,766,566	17,350,846
特定資産合計	40,476,522	36,060,802
(3) その他固定資産		
建物	21,285,890	21,985,450
什器備品	289,599	453,244
その他固定資産合計	21,575,489	22,438,694
固定資産合計	119,768,931	116,216,416
資産合計	206,208,819	198,532,137
II 負債の部		
1. 流動負債		
預り金	115,400	56,540
仮受金	3,000	142,165
流動負債合計	118,400	198,705
2. 固定負債		
固定負債合計	0	0
負債合計	118,400	198,705
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
2. 一般正味財産		
(うち基本財産への充当額)	206,090,419	198,333,432
(うち特定資産への充当額)	(57,716,920)	(57,716,920)
(うち特定資産への充当額)	(40,476,522)	(36,060,802)
正味財産合計	206,090,419	198,333,432
負債及び正味財産合計	206,208,819	198,532,137

法人名：公益社団法人 全国珠算学校連盟

正味財産増減計算書

平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 9 月 30 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	9,774	9,519	255
受取入会金			
受取入会金	105,000	85,000	20,000
受取会費			
会員受取会費	6,990,000	7,020,000	△ 30,000
事業収益			
生徒安全会収入	13,000	31,500	△ 18,500
検定収入	67,297,000	65,864,900	1,432,100
教育認定収入	0	10,000	△ 10,000
事業収益計	67,310,000	65,906,400	1,403,600
受取負担金			
受取負担金	2,090,000	2,067,000	23,000
雑収益			
受取利息	503	1,147	△ 644
雑収益	475,350	403,464	71,886
雑収益計	475,853	404,611	71,242
経常収益計	76,980,627	75,492,530	1,488,097
(2) 経常費用			
事業費			
(事) 給料手当	4,591,045	4,366,288	224,757
(事) 役員報酬	3,135,000	1,632,000	1,503,000
(事) 福利厚生費	1,284,650	1,296,518	△ 11,868
(事) 旅費交通費	2,456,299	3,053,818	△ 597,519
(事) 通信運搬費	941,508	917,171	24,337
(事) 消耗品費	701,653	1,033,534	△ 331,881
(事) 印刷製本費	5,977,137	5,850,763	126,374
(事) 光熱水料費	355,488	374,659	△ 19,171
(事) 賃借料	1,319,954	2,290,294	△ 970,340
(事) 諸謝金	340,000	300,000	40,000
(事) 租税公課	1,518,295	1,671,752	△ 153,457
(事) 支払負担金	1,900,000	900,000	1,000,000
(事) 委託費	100,980	93,960	7,020
(事) 作間関係費	409,860	819,020	△ 409,160
(事) 会議費	142,575	270,718	△ 128,143
(事) 旅費	6,298,142	5,152,696	1,145,446
(事) 支払給付金	24,000	0	24,000
(事) 建物管理費	258,741	258,741	0
(事) 会場費等	37,326,110	36,562,490	763,620
(事) 雑費	1,495,535	1,652,778	△ 157,243
事業費計	70,576,972	68,497,200	2,079,772
管理費			
(管) 役員報酬	839,000	450,000	389,000
(管) 給料手当	411,955	405,612	6,343
(管) 福利厚生費	95,242	87,177	8,065
(管) 会議費	1,342,686	1,135,743	206,943
(管) 旅費交通費	63,789	74,588	△ 10,799
(管) 通信運搬費	47,575	48,705	△ 1,130
(管) 消耗品費	6,614	11,922	△ 5,308
(管) 印刷製本費	378,112	280,636	97,476
(管) 光熱水料費	28,823	30,378	△ 1,555
(管) 賃借料	147,096	110,160	36,936
(管) 諸謝金	128,000	136,000	△ 8,000
(管) 租税公課	123,105	135,548	△ 12,443
(管) 旅費	510,660	417,786	92,874
(管) 渉外費	203,960	336,200	△ 132,240
(管) 建物管理費	20,979	20,979	0
(管) 雑費	103,487	89,123	14,364
管理費計	4,451,083	3,770,557	680,526
経常費用計	75,028,055	72,267,757	2,760,298
評価損益等調整前当期経常増減額	1,952,572	3,224,773	△ 1,272,201
当期経常増減額	1,952,572	3,224,773	△ 1,272,201
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,952,572	3,224,773	△ 1,272,201
当期一般正味財産増減額	1,952,572	3,224,773	△ 1,272,201
一般正味財産期首残高	204,137,847	195,108,659	9,029,188
一般正味財産期末残高	206,090,419	198,333,432	7,756,987
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	206,090,419	198,333,432	7,756,987

全国支部長会報告

平成 28 年度の全国支部長会が創立記念日に合わせて 11 月 20 日に開かれ、検定試験の審査会報告及び 29 年度の検定試験処理日程など説明がありましたので、資料を掲載します。

検定後の採点方法・答案用紙本部送付の手順について

時下、支部長各位におかれましてはご清米のこととお慶び申し上げます。また、平素から当連盟の事業活動に対し、格別なるご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。さて、ご承知の通り平成 25 年 4 月の公益法人に移行後、各種検定試験について支部より答案を本部へ送って頂き、答案審査会を実施しております。つきましては、答案審査の際に、いま一度、各支部における採点（一番）・再採点（二番）方法／本部送付についての手順の徹底をお願いし、たく、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 採点（1 番）及び（2 番）について

・答は決められた欄にご記入下さい。

誤答の時、欄外に書く場合は、横線で消した後、番号・矢印を付けて正答を記入下さい。

（見取算の場合は問題記載欄に答えを記入しないこと）

・一番は赤ボールペンで、二番は青ボールペンで、別の人が行うようにして下さい。

（一番の上に青で○をつけている答案がありますが、これは誤りです。）

2. 成績表兼証書授与台帳の記入について（3 枚複写 以下成績表とする）

・級別に点数を記入し、判定の欄に、可否を必ず記入して下さい。

・3 枚のうち、1 枚は各教場の控え、1 枚は答案用紙に添えて本部送り、1 枚は各支部控とする。

3. 検定後の答案用紙のセット方法について（二番後教場より支部へ）

・受検者別に見取算の問題面を表にして半分に折り、その中に乗算・除算・伝票算答案を挟み込む。

・各級の答案用紙の上に成績表をつけて、取りまとめ担当者に送る。

段 位

・受検者別に見取算の問題面を四つ折りにして、乗算・除算・伝票算の答案を挟みこんでください。個人申込書（2 部）に点数を記入し、過去の成績及び昇段の有無を必ず記入し、成績表（2 部）を添えて各支部の担当者に送付して下さい。

4. 答案用紙担当者の手順について（支部より本部へ）

1 級～3 級 ・教場より送られた答案用紙を教場ごとに分けて本部に締切日までに送付する。

（報告期限日厳守のこと）

段 位

・昇段者については「総合段位申請書」に今回の得点、過去の最高点（今回以外）を明記の上、総合段位を記入し緑色の封筒に入れて本部事務局に送付する。（各教場より送られてきた成績表、個人申込書の 1 部は支部控えとする。）

5. 10 段取得者について

総合 10 段、種目 10 段（種目別は、未昇段申請書の場合有）昇段者については
段位申請書と共に答案用紙も緑色の封筒に入れて、本部事務局に送付する。

採点等大変良好となっておりますが、今一層のご協力をお願い申し上げます。

以上

平成29年度 珠算・暗算検定／算数検定

作問関係／受検者数報告／問題発送／合格者数報告／合格証書発送／答案回収 審査会 処理日程 2016.11.20

検定種類	珠算・暗算検定試験					算数検定試験				
	H29(2017)					H29(2017)				
試験日	5/28日	7/23日	9/24日	11/28日	1/28日	3/25日	6/18日	10/15日	2/18日	
作問関係	珠算検定回数	級	級	級	級	級	第88回	第69回	第70回	
	暗算検定回数	級	級	級	級	級				
	級位	253	254	255	256	257	258			
	級位	262	263	264	265	266	267			
問題発送期限	3/20	5/20	7/20	9/20	11/20	1/20	4/20	8/20	12/10	
	4/10	6/10	8/10	10/10	12/10	2/10	5/10	9/10	1/10	
教場申込み切	4/25	6/25	8/25	10/25	12/25	2/25	5/18	9/15	1/18	
各支部処理日程					各支部処理日程					
受検者数報告書	支部から本部への受検者数報告期限	5/2	7/3	9/1	11/1	1/9	3/5	5/22	9/19	1/22
	本部から業者へ申込者数報告期限	5/8	7/5	9/4	11/6	1/11	3/7	5/24	9/21	1/24
問題発送	業者から各支部へ問題発送期限	5/10	7/7	9/6	11/8	1/12	3/9	5/26	9/25	1/26
	問題支部到着	5/12	7/10	9/8	11/10	1/15	3/12	5/29	9/27	1/29
合格者数報告書	本部から業者へ合格証書発送期限	5/20	7/20	9/20	11/20	1/20	3/20	6/10	10/10	2/10
	(試験日)	(5/28)	(7/23)	(9/24)	(11/26)	(1/28)	(3/25)	(6/18)	(10/15)	(2/18)
合格者数報告書	各支部から本部へ合格者数報告期限	6/12	8/9	10/10	12/11	2/9	4/6	7/3	10/30	3/5
	本部から業者へ合格者数報告期限	6/14	8/10	10/12	12/13	2/13	4/9	7/5	11/1	3/7
合格証書各支部着期限	業者から各支部へ合格証書他発送期限	6/16	8/16	10/16	12/15	2/15	4/11	7/7	11/6	3/9
	合格証書各支部着期限	6/19	8/18	10/18	12/18	2/19	4/13	7/10	11/8	3/12
答案審査会(予定)	各支部から本部へ合格者数報告書	6/12	8/9	10/10	12/11	2/9	4/6	7/3	10/30	3/5
	本部にて答案審査会(予定)	6/14	8/10	10/11	12/13	2/14	4/11	7/5	11/1	3/7

【注意事項】

1. 受検者数報告(支部から本部へ)：教場で申し込み締切後1週間以内に報告
 2. 問題発送(業者から支部へ)：検定日の2週間前(支部)：検定日の2週間以内に報告(同時に、段位申請書を本部へ発送)
 3. 合格者数報告(支部から本部へ)：検定日後2週間以内に報告(同時に、合格者数報告書受領後速次発送)
 4. 合格証書の発送(業者から支部へ)：合格者数報告書受領後速次発送(※段位の発送は、翌月にされる場合があります)
 5. 合格証の名入れ：級＝各支部で名入れ、段位＝業者にて名入れ後発送
 6. 答案回収・審査会について：本部へ発送する答案：珠算・暗算の「1級・準1級・準2級・3級」及び「算数検定(種目10段合格の答案は別封筒で)」・検定試験実施後2週間以内に支部から一括して本部へ発送する(答案と成績表兼証書授与台帳を一纏に発送)
 - ・検定試験答案回収後、本部にて答案審査会を開き、検定委員長に報告。
- (是正が必要であれば、その前度検定委員長より該当支部へ連絡)

公益社団法人 全国珠算学校連盟

モンゴル便り

モンゴル・ウランバートルで11月5日（日）に開催された第7回「モンゴルそろばんオリンピック」に招かれましたの、熱戦などその様子を以下ご報告いたします。
（会長 山中 幸二）

第7回モンゴル国 算盤オリンピック 2016年11月5日（土）モンゴル国 ウランバートル



算盤オリンピック 競技大会風景



競技大会賞状



個人総合 入賞者の表彰



競技大会役員の先生方



来賓の先生方

公益社団法人全国珠算学校連盟「創立 55 周年記念式典」報告

本連盟「創立 55 周年記念式典」が平成 28 年 11 月 20 日（日）東京都文京区の「東京ガーデンパレス」にて開催されました。第 1 部のモンゴル珠算協会会長のトゥムルバートル先生による記念講演に始まり、第 2 部の式典では、細田博之名誉会長、和田義明衆議院議員、文部科学省専修学校教育振興室の白鳥綱重室長はじめ、多数のご来賓のご臨席のもと、厳粛な中、盛大に挙行されました。

また、第 3 部の祝宴では、モンゴルの民族楽器の演奏から始まり、華やかでありまた和やかな雰囲気の中、万歳三唱まで滞りなく執り行われました。式典では、平成 23 年の 50 周年式典での表彰以降に、20 年を越える在籍者の表彰者の名簿等も配布されておりますので、その内容ほか式典の一部を以下ご報告いたします。



挨拶する山中会長



祝辞を述べられる細田衆議院議員・連盟名誉会長



挨拶する吉田顧問（吉田学園理事長）



祝辞を述べられる白鳥文部科学省専修学校教育振興室長



記念講演で講演されるトゥムルバートル先生



自民党安倍総裁感謝状の贈呈（代表 大滝先生）



祝賀会のひとコマ（細田名誉会長・白鵬横綱のお姉さんと）



総合司会（池田先生・蓮井先生）

創立 55 周年記念式典の式次第と式典の様子など



君が代斉唱



祝賀会で祝辞を述べられる和田衆議院議員

横綱 白鵬関から学校連盟の
会員の皆様へビデオメッセージ

公益社団法人 全国珠算学校連盟

創立 55 周年記念式典

平成 28 年 11 月 20 日 (日) PM 3:00 ~ 7:00
ホテル「東京ガーデンパレス」2F 天空

《 式 次 第 》 総合司会：蓮井 慶太郎 池田 彰子

第 1 部 記念講演 PM 3:00 ~ 4:00

講師 トゥムルバートル・デレグ様 (モンゴル珠算協会会長)

講演テーマ 「モンゴル珠算教育事情」

第 2 部 記念式典 PM 4:00 ~ 4:50

開式のことば 横須賀長次 副会長

国歌斉唱

物故者黙祷

会長式辞 山中 幸二 会長

顧問祝辞 吉田 松雄 顧問 (学校法人 吉田学園 理事長)

来賓祝辞 ・ 細田 博之 様 (衆議院議員) (公益社団法人全国珠算学校連盟名誉会長)

・ 白鳥 綱重 様 (文部科学省専修学校教育振興室長)

・ トゥムルバートル・デレグ様 (モンゴル珠算協会会長)

来賓ご紹介

祝電披露

感謝状・記念品贈呈

◇役職功労表彰【自民党総裁感謝状】 代表 大滝 徹 様

◇永年在籍表彰【珠算学校連盟感謝状】 代表 南雲 初江 様

◇実務功労表彰【珠算学校連盟感謝状】 代表 木股 光雄 様

受章者代表謝辞 南雲 初江 様

閉式のことば 山中 博詞 副会長

第 3 部 祝 宴 PM 5:00 ~ 7:00

開宴のことば 横須賀長次 副会長

会長挨拶 山中 幸二 会 長

来賓祝辞 石井 孝幸 様 (株式会社ツーンネット 代表取締役社長)

乾 杯 三富 邦基 常任理事

万歳三唱 立木 博 常任理事

閉宴のことば 山中 博詞 副会長

創立 55 周年記念式典の表彰者名簿と式典の様子など



永年在籍表彰 (代表 南雲先生)



モンゴル民族楽器 馬頭琴演奏



万歳三唱でお開き

公益社団法人 全国珠算学校連盟
創立55周年記念式典 表彰者名簿 (138名)

◇役職功勞表彰 (53名)

(敬称略・順不同)

顧問	吉田 松雄	理 事	徳永 博旦	支 部 長	宮坂 文雄
会長	山中 幸二		岡田 良章		室河 朝子
副会長	横須賀 長次		松原 広子		小泉 信太郎
	木谷 建一	前副会長	為定 満子		鈴木 直光
	山中 博詞		出井 生代		大石 健太郎
常任理事	三富 邦基		林 大治郎		倉田 裕
	立木 博	連合会専門委員	中島 えいこ		藤井 重昭
	南雲 初江	新世代の会代表	見目 光治		津畑 吉洋
	大滝 徹	副代表 幹事	木谷 晋也		河村 嘉洋
監事	蓮井 慶太郎		池田 彰子		小上 眞作
	古川 侃司	支 部 長	小林 久美子		藤井 栄
理事	鈴木 啓一		阿部 伸一		井上 清
	高橋 輝男		及川 實		山口 弘
	杵 鞭 博昭		佐藤 幸助		永田 恵美子
	早川 典秀		吉田 政美		二之宮 秀一
	渡辺 攝宣		新井 勉		吉江 國雄
	竹中 翠		中野 やよい		具志川 光彦
	沢野 基司		長谷部 和子		

◇永年在籍表彰 (50周年記念式典以降 20年以上在籍会員) (81名) (敬称略・順不同)

北海道	片山 明美、浅野 亮子、卜部 博之、吉木 法雄、丸茂 洋子
青森県	浜谷 行子、若狭 多代子
岩手県	内金崎 純一
宮城県	内馬場 良尚
秋田県	横尾 喜代子、横尾 愛子、後藤 ますみ
福島県	菊池 恵子、草野 勝昭、草野 米子、持立 麗子、豊田 啓子、山内 純子 本多 美津子、三富 俊彦
茨城県	林 豊子、武井 ふじ子、箱崎 喜代子
栃木県	細野 美貴、渡辺 幸子
埼玉県	加瀬 美知子、南雲 初江
千葉県	小倉 義明、鈴木 武子、鈴木 幸枝、田中 昭子、椿 静子、福島 勇
東京都	大山 勝治
神奈川県	九石 悦子、酒井 恵美子、佐藤 百合子
長野県	竹原 一夫、宮澤 美雪、中村 敬子、小林 多恵子、中西 久美子
新潟県	小黑 逸子
石川県	木谷 建一、木谷 泰子
岐阜県	関谷 樹弘、松本 行雄、二村 広子
静岡県	進士 美千穂、広瀬 三千男、望月 基弘、木村 幸江、本山 和子、高須 たつ子
愛知県	安井 宏、伊藤 のり子、田中 恵子、田中 栄一、村田 康代、坂口 久子、佐藤 一夫 古川 侃司、古川 昇史、山田 憲市、高橋 健治
三重県	今井 久男、倉田 裕、前田 とみ子
兵庫県	木谷 晋也
島根県	大森 芳信
香川県	中川 擁子
福岡県	出井 生代、中願寺 文代、山村 銆市
宮崎県	甲斐 眞知子
沖縄県	鎌倉 弘子
奈良県	福井 忠義、仲村 千代子、松尾 米子、平岡 仁紀子、堀川 やよひ

◇実務功勞表彰 (4名)

(敬称略・順不同)

本部事務局	木股 光雄、木下 貞夫、吉田 由美、水野 住江
-------	-------------------------

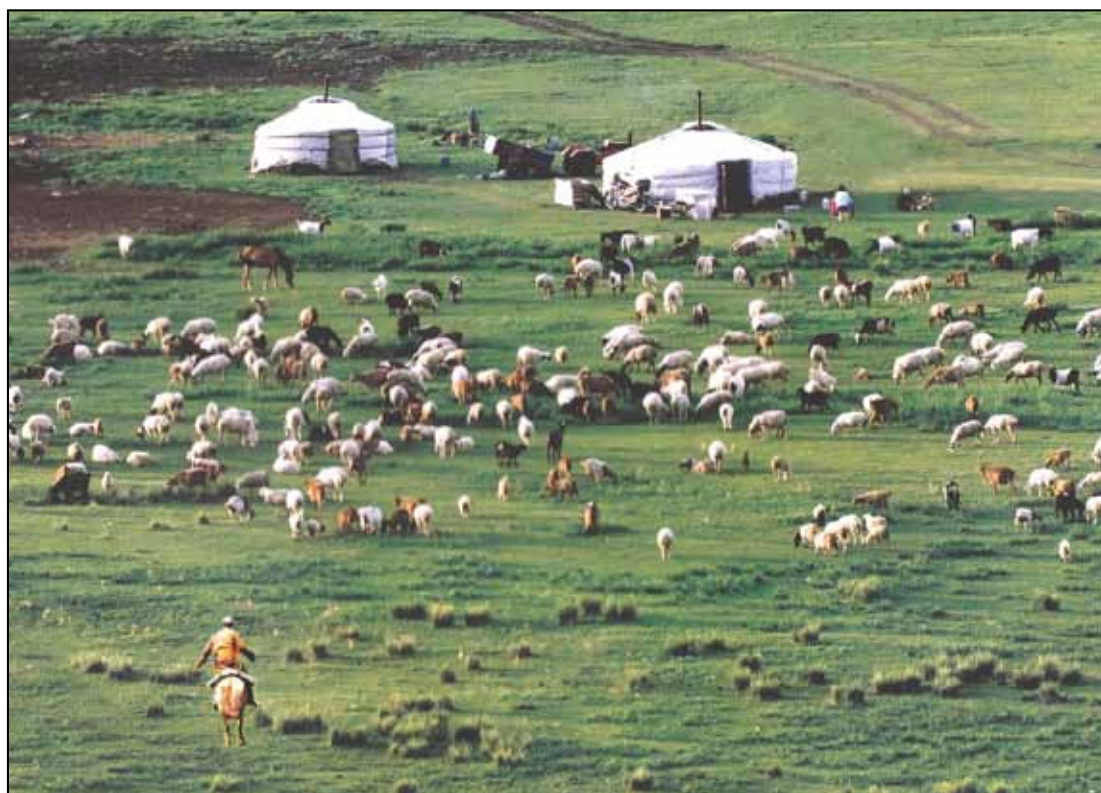
モンゴル 5 日間の旅へのお誘い

55 周年記念式典でご講演頂きました、トゥムルバートル先生のお計らいで
モンゴル 5 日間の旅を企画しました。皆さん大草原の夏を満喫しましょう。

青空の国 モンゴル

そろばん教室を見学してゲルに泊まって 大草原に行く雄大なモンゴルの旅 5 日間

*** キャビアのお土産付 ***



と き 8月2日（水）～8月6日（日）4泊5日

出 発 成田発（直行便）→モンゴル ウランバートル着（約5時間）

費 用 19万円（飛行機・宿泊・食事代含）

※参加希望の方は2月28日（火）までに山中幸二まで
ご連絡下さい。（期日厳守でお願い致します。）

〒306-0011 茨城県古河市東二丁目21-25
TEL: 0280-32-2893 FAX: 0280-31-5555
E-MAIL: yamanaka-school@snw.plala.or.jp

《編 集 後 記》

▽新年、あけましておめでとうございます。

昨年の10月には「新世代の会」、「明日の珠算を考える会2016」など大きな行事がありました。新世代の会では役員も決まり本格的に活動が始まりました。また、11月には役員・支部長の先生方が参加される中、「全国珠算学校連盟創立55周年記念式典」が盛会裏に挙行されるなど、とても良い年を送ることができました。今年は、若い先生方にもお力を発揮していただき、より活力のある連盟となりますようお願いしております。

11月に起きた福岡市博多駅前の大規模な道路陥没事故に際して、福岡県の官民一体の協力の下、わずか1週間で全面復旧し道路も開通しました。日本国内だけでなく、世界中の人々が感嘆しました。こうした結束力を参考に、当連盟も会員の皆様方の一致団結を以って、60周年から65周年へと発展していければと願っております。

本年も会員の先生方には、いろいろお世話になることと思いますが、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

(広報委員長 蓮井慶太郎)

▽新年、あけましておめでとうございます。山中会長のリーダーシップの下、平成28年度の「珠算技能競技大会」、「集合研修会」、「指導者研修会」など主な行事の他、昨年11月には、「学校連盟創立55周年記念式典」等々滞りなく施行され、事務局一同ほっと一息で、しばしの休みに入っているところです。創立55周年の節目にあたり、事務局スタッフも気持ちを新たに、諸事業の遂行に全力で当たってまいります。なお、平成29年2月には、公益法人へ移行後、内閣府による最初の立ち入り検査が実施される予定です。各検定試験の公正な実施を始め、諸活動に対し会員の先生方の一層のご協力が欠かせない中、本年もご指導ご鞭撻の程、宜しくようお願い申し上げます。新年が皆様にとって実り多い年となります様お祈りいたします。

(本部事務局 木股)



会 報 第271号

発行日 平成29年1月1日

発行所 公益社団法人 全国珠算学校連盟

〒464-0850 名古屋市千種区今池3丁目1-3

TEL (052) 732-5051

FAX (052) 733-5413

<http://shuzan-gakko.com/>

E-mail : info@shuzan-gakko.com

発行人 会 長 山 中 幸 二

編集人 広報委員長 蓮 井 慶太郎

